

原点を O とする座標平面上に、3点 $A(1, 2)$, $B(4, -1)$, $C(0, 4)$ がある。また、点 A , B , C の位置ベクトルを、それぞれ \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} とする。以下の問いに答えよ。

- (1) 直線 AB 上に点 P をとり、点 P の位置ベクトルを \vec{p} とする。 $\vec{p} \cdot \vec{c} = 0$ を満たす点 P の座標を求めよ。
- (2) 点 C から直線 AB におろした垂線を CH とするとき、ベクトル \vec{CH} を求めよ。
- (3) 点 C と直線 AB の距離を求めよ。

(26 鳥取大 地域・医(看)・農(生) 4)

【答】

- (1) (3, 0)
- (2) $\left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}\right)$
- (3) $\frac{\sqrt{2}}{2}$

【解答】

- (1) P は直線 AB 上の点であるから、 P の位置ベクトル \vec{p} は実数 t を用いて

$$\begin{aligned}\vec{p} &= \vec{OA} + t\vec{AB} \\ &= (1, 2) + t(3, -3)\end{aligned}$$

と表すことができる。 \vec{p} は $\vec{p} \cdot \vec{c} = 0$ を満たすから

$$\begin{aligned}\{(1, 2) + t(3, -3)\} \cdot (0, 4) &= 0 \\ 8 - 12t &= 0 \quad \therefore t = \frac{2}{3}\end{aligned}$$

である。

$$\vec{p} = (1, 2) + \frac{2}{3}(3, -3) = (3, 0)$$

であり、 P の座標は

$$\mathbf{P(3, 0)} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- xy 平面上で $C(0, 4)$ は y 軸上の点であるから、 $\vec{p} \cdot \vec{c} = 0$ を満たす点 $P(\vec{p})$ は x 軸上の点である。 P は直線 AB 上の点でもあるから、 P は直線 AB と x 軸との交点である。直線 AB の方程式は

$$y = \frac{-1-2}{4-1}(x-1) + 2 \quad \therefore y = -x + 3$$

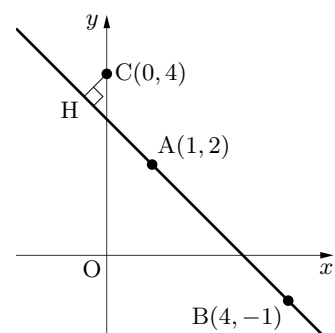
であるから、 P の座標は

$$P(3, 0)$$

である。

- (2) H は点 C から直線 AB に下した垂線の足であるから、実数 u を用いて

$$\begin{aligned}\vec{OH} &= \vec{OA} + u\vec{AB} \\ &= (1, 2) + u(3, -3)\end{aligned}$$



と表すことができる。 $\overrightarrow{CH} \cdot \overrightarrow{AB} = 0$ であるから

$$\begin{aligned} \{(1, 2) + u(3, -3) - (0, 4)\} \cdot (3, -3) &= 0 \\ \{(1, -2) + u(3, -3)\} \cdot (3, -3) &= 0 \\ (3+6) + (9+9)u &= 0 \quad \therefore u = -\frac{1}{2} \end{aligned}$$

よって

$$\overrightarrow{CH} = (1, -2) - \frac{1}{2}(3, -3) = \left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}\right) \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- \overrightarrow{AH} は \overrightarrow{AC} の \overrightarrow{AB} への正射影ベクトルであるから

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AH} &= \frac{\overrightarrow{AC} \cdot \overrightarrow{AB}}{|\overrightarrow{AB}|^2} \overrightarrow{AB} = \frac{(-1, 2) \cdot (3, -3)}{3^2 + (-3)^2} (3, -3) \\ &= \frac{-3-6}{18} (3, -3) = -\frac{3}{2} (1, -1) \end{aligned}$$

であり

$$\overrightarrow{CH} = \overrightarrow{AH} - \overrightarrow{AC} = -\frac{3}{2}(1, -1) - (-1, 2) = \left(-\frac{1}{2}, -\frac{1}{2}\right)$$

である。

- (3) 点 C と直線 AB の距離は線分 CH の長さであるから

$$|\overrightarrow{CH}| = \sqrt{\left(-\frac{1}{2}\right)^2 + \left(-\frac{1}{2}\right)^2} = \frac{1}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}}{2} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- 点 C(0, 4) と直線 AB : $x + y - 3 = 0$ の距離は

$$\frac{|0 + 4 - 3|}{\sqrt{1^2 + 1^2}} = \frac{1}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}}{2}$$

である。